

# BBLセミナー コメント資料

2014年3月13日

「サービス産業の生産性向上  
—実証研究に基づく提言—」

八代 尚宏

# サービス産業の生産性向上 コメント

2014.3.13

国際基督教大学

八代尚宏

# サービス産業の生産性の実態分析

- サービス産業生産性の水準と上昇率の低さ
- 産業でなく、企業ベースマイクロデータの分析
- 平均だけでなく、個別生産性のばらつき検証
- 製造業と比べたサービス業の特徴として、
- ①生産と消費の空間的・時間的同時性
- ②都市の人口密度や需要変動
- ③ICT技術の活用度合い

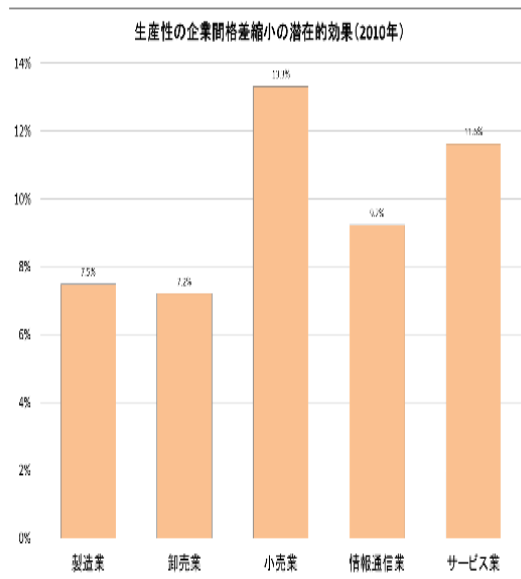
# サービス産業の生産性向上

- なぜ産業内の新陳代謝が進まないか？
- ⇒新陳代謝を妨げている規制や政策の改革
- 公共的サービス価格の低さによる混雑現象
- ⇒高付加価値化を妨げる画一的規制
- 政府と市場の適切な役割分担への示唆
- サービスの品質の高さ(正確性、待ち時間)は、なぜ価格に反映されないのか？

# 産業別の「生産性格差縮小効果」

## 生産性格差縮小の潜在的効果

- ・ 企業間で大きな生産性格差が存在するとすれば、低生産性企業のキャッチアップを通じた格差縮小によって産業全体の生産性が上昇する余地 (cf. Syverson, 2004)。
- ・ 潜在的効果の試算: 生産性が中央値未満の企業の生産性が中央値並みまで「底上げ」された場合、産業集計レベルの生産性がどの程度嵩上げされるか?



- 小売・サービス業で、とくに縮小効果の大きさ
- 新陳代謝の低さが米国と比べて日本サービス産業の低生産性の要因
- 規制、商慣行、地方の不良債権処理の遅れ
- 低生産性企業の機会費用を低める土地税制 (シャッター通り等)

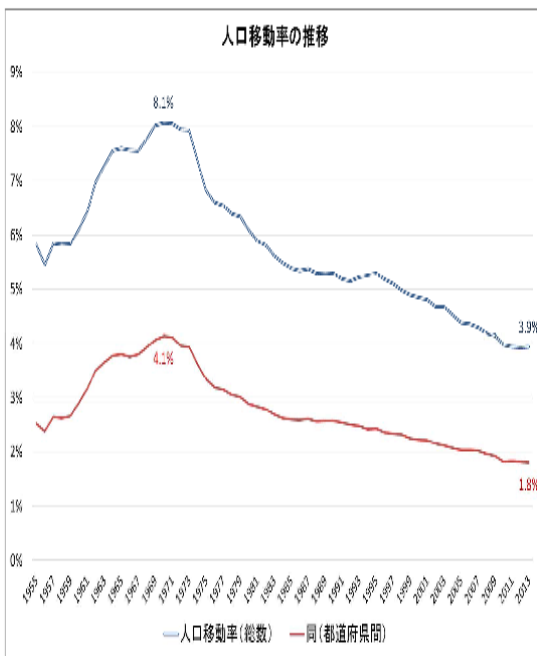
# 大都市一極集中の効果

- 空間的な同時性は、都市集積の利益（生産者、消費者の集積が高度なサービスを維持）
- 人口密度でビジネス・消費の生産性向上
- 大都市一極集中・都市国家の利益
- コンパクトシティのエネルギー効率性
- 人口密度が高いほど高賃金が可能
- それにもかかわらず、人口移動率の低下で経済全体の「配分効率性」の低下

# 地域間人口移動の生産性向上効果

## 人口移動率の低下

- 日本の人口移動率は1970年をピークに低下を続けている。足下では4%を切り、都道府県を越えた移動は2%を下回っている。
- \* 米国や北欧諸国の人口移動率は10%を上回っている (Sanchez and Andrews, 2011)。



(注)「住民基本台帳人口移動報告」、「国勢調査」等より作成。

- 1970年代以降の人口移動率低下が、TFP上昇率への抑制効果
- 「国土の均衡ある発展」政策の呪縛
- 人口減少社会では、社会資本の充実した都市部への人口移動の誘導
- コンパクトシティーは大都市でも大きな課題

# 生産性の企業間格差のばらつき

- 潜在的効果の試算：生産性が中央値未満の企業の生産性が中央値並みまで「底上げ」された場合、産業集計レベルの生産性がどの程度嵩上げされるか？
- ⇒自由な市場競争で、低生産性企業が淘汰、高生産性企業のシェア拡大で、産業平均の生産性が向上
- 労働者の円滑な移動と社会的安全弁の確保
- 「企業ではなく、個人を守る」北欧型市場国家



# 時間的同时性の克服

- 需要変動の平準化で生産性の向上
- 鉄道・道路でのピーク・ロード・プライシング
- 有給休暇消化率引き上げで休暇の分散化
- 売上高変動率が高い企業では、非正規雇用、とくに派遣労働者がTFP に対して正の効果
- 対個人サービスの機械への代替と高付加価値化への二極分化(床屋の生産性問題)

# 労働組合の生産性上昇への効果

- 米国では、労働組合は賃金を高めるが生産性への効果はなく、企業集計ではマイナス
- 日本では、労働組合がある企業の生産性の水準や生産性伸び率は高い
- ⇒ 経営者と対立的な米国の職種別組合と、協調的な日本の企業別組合との差
- ⇒ 企業内労働市場の日本で、中間消費扱いの非正社員労働の成果が正社員に帰属？

# 公共サービス分野への適用

- 医療・介護・保育・教育分野では、企業を排除し、公立や「非営利法人」の独占的市場
- 経営者のガバナンスの制約
- ⇒ 企業参入でコーポレートブランドの活用
- 需給均衡以下の価格で慢性的な待ち行列
- 価格規制(保険の償還価格＝市場価格)
- ⇒ 標準サービスの高付加価値化(混合診療・混合介護・混合保育)への制約

# (例) タクシー規制改革の効果

- 2002年参入規制緩和で、全国1万台数増加
- 全面的な料金自由化への制約で空車の山
- タクシーの生産性向上のカギとなる稼働率
- 利用者の待ち行列の短縮化
- サービス高付加価値化(空港料金、福祉)
- 価格引下げ(ワンコイン、長距離・短距離割引)
- タクシー呼び出しへのICT技術の活用